



平成27年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月30日

上場取引所 東 札

上場会社名 北海道コカ・コーラボトリング株式会社  
 コード番号 2573 URL <http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐々木 康行

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理部長 (氏名) 矢野 恭弘

TEL 011-888-2051

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第3四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	44,240	△3.4	975	△14.4	1,000	△14.8	539	△25.9
26年12月期第3四半期	45,799	9.5	1,139	37.5	1,174	28.9	728	47.5

(注)包括利益 27年12月期第3四半期 529百万円 (△38.4%) 26年12月期第3四半期 858百万円 (56.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第3四半期	14.78	—
26年12月期第3四半期	19.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第3四半期	48,109	36,349	75.6
26年12月期	46,640	36,259	77.7

(参考)自己資本 27年12月期第3四半期 36,349百万円 26年12月期 36,259百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	6.00	—	6.00	12.00
27年12月期	—	6.00	—		
27年12月期(予想)				6.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,900	△4.6	1,000	△9.2	1,000	△10.4	400	△34.4	10.95

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年12月期3Q	38,034,493 株	26年12月期	38,034,493 株
② 期末自己株式数	27年12月期3Q	1,504,739 株	26年12月期	1,504,193 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年12月期3Q	36,530,107 株	26年12月期3Q	36,530,828 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。上記の業績予想に関する事項につきましては、添付資料の2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成27年1月1日～平成27年9月30日）におけるわが国経済は、消費増税による落ち込みから持ち直しつつあるものの、個人消費が大幅に減少したため停滞感を強めています。

また、清涼飲料業界では各メーカーの販売促進費の積極的な投入による価格競争など、激しいシェア争いが続き、厳しい市場環境が続きました。

このような状況のなかで、当社グループは、既存市場における当社商品のシェアを高める活動と、新規顧客の獲得によって売上の拡大をはかる活動に注力しました。

具体的には、自動販売機事業において、エリアマーケティングを活用し地域の特性に応じてパッケージや品ぞろえの展開を進めるとともに、競合メーカーと併設している場所については、当社グループのオペレーション力を生かした1社管理を提案、推進することや、「からだすこやか茶W」などの付加価値の高い商材の展開強化を行い売上の拡大をはかりました。

新商品としては、触れただけでコカ・コーラとわかるコンツァーボトルの誕生100周年を記念して、新たにアルミ素材のスリムボトルを「コカ・コーラ」「コカ・コーラ ゼロ」で発売しました。また、コーヒー飲料では、ジョージア40周年を記念して、豆、焙煎、抽出全ての工程にこだわり、コーヒーの深いコクと上質な香りが楽しめるプレミアムコーヒー「ジョージア ザ・プレミアム」を発売したほか、北海道新幹線開業を道産子企業として盛り上げることを目的に、「ジョージア エメラルドマウンテンブレンド 北海道新幹線デザイン缶」の発売や、スペシャルティコーヒー専門店「猿田彦珈琲」監修の「ジョージア ヨーロピアンシリーズ」のリニューアルを行い、新たにボトル缶を発売するなど、主要ブランドの強化による売上の拡大をはかりました。

設備投資としては、収益性の改善と多様化するニーズに対応する事を目的に、新抽出技術である「新・バリスタハンド製法」を用いてボトル缶コーヒーを自社製造することができるラインを新設しました。

地域との結びつきを深める活動については、釧路の子どもたちが就業体験や社会システムを学ぶ事を目的に、「くしろキッズタウン2015」を開催したほか、「YOSAKOIソーラン祭り」を道内各地で広くPRし、祭りの活性化を図る事を目的に販売した、「YOSAKOIソーラン祭り応援デザイン缶」の売上の一部である2,557千円をYOSAKOIソーラン祭り組織委員会に寄付いたしました。

環境保全の取り組みとしては、札幌市と締結した「環境事業に関する協定」に基づく活動「白旗山の50年の森づくり」がスタートから5年目を迎え、今年も次世代を担う子ども達とともに、植樹や自然工作を通じて「森」と「水」の大切さや自然の大切さを学ぶ「森に学ぼう」プロジェクトで150本のミズナラを植樹しました。また、「環境広場さっぽろ2015」や「函館エコフェスタ2015」など、環境に関心を持ち、次世代へより良い環境を引き継ぐ事を目的としたイベントに積極的に参加し、環境保全に対する意識を活性化するための活動を実施しました。

以上の様々な活動や徹底したコスト削減に取り組んできたものの、競争激化による販売単価の下落などに伴い、当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は442億4千万円（前年同期比3.4%減）、営業利益は9億7千5百万円（前年同期比14.4%減）、経常利益は10億円（前年同期比14.8%減）、四半期純利益は5億3千9百万円（前年同期比25.9%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、481億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億6千8百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が減少したものの、機械装置及び運搬具などの有形固定資産が増加したことによるものです。

負債は、117億5千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億7千8百万円増加いたしました。これは主に、退職給付に係る負債が減少したものの、買掛金が増加したことによるものです。

純資産は、363億4千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ9千万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が増加したことによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年2月6日に公表しました予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
  
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,708	7,654
受取手形及び売掛金	4,967	5,609
商品及び製品	4,140	4,804
原材料及び貯蔵品	331	450
繰延税金資産	337	419
その他	1,957	2,108
貸倒引当金	△13	△18
流動資産合計	21,428	21,028
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,952	6,837
機械装置及び運搬具（純額）	3,962	4,963
販売機器（純額）	4,313	4,642
土地	5,998	6,562
建設仮勘定	237	368
その他（純額）	1,744	1,805
有形固定資産合計	23,208	25,180
無形固定資産		
ソフトウェア	267	246
その他	11	11
無形固定資産合計	278	257
投資その他の資産		
投資有価証券	673	600
長期貸付金	213	205
繰延税金資産	231	173
その他	626	685
貸倒引当金	△22	△23
投資その他の資産合計	1,723	1,642
固定資産合計	25,211	27,080
資産合計	46,640	48,109

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,877	3,635
未払金	2,026	1,956
未払法人税等	284	223
賞与引当金	-	360
設備関係未払金	567	1,109
その他	2,174	2,250
流動負債合計	7,931	9,536
固定負債		
資産除去債務	91	88
退職給付に係る負債	958	734
環境対策引当金	-	1
その他	1,399	1,399
固定負債合計	2,450	2,222
負債合計	10,381	11,759
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,935	2,935
資本剰余金	4,924	4,924
利益剰余金	29,466	29,568
自己株式	△902	△903
株主資本合計	36,423	36,524
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	147	104
退職給付に係る調整累計額	△312	△279
その他の包括利益累計額合計	△164	△175
純資産合計	36,259	36,349
負債純資産合計	46,640	48,109

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
売上高	45,799	44,240
売上原価	30,252	29,051
売上総利益	15,547	15,188
販売費及び一般管理費	14,408	14,213
営業利益	1,139	975
営業外収益		
受取利息	5	3
受取配当金	8	10
受取賃貸料	19	27
その他	56	62
営業外収益合計	90	103
営業外費用		
支払利息	1	1
固定資産除却損	28	39
寄付金	15	15
その他	10	21
営業外費用合計	54	78
経常利益	1,174	1,000
特別利益		
固定資産売却益	168	107
投資有価証券売却益	-	1
その他	1	-
特別利益合計	170	109
特別損失		
固定資産除売却損	12	49
減損損失	8	8
その他	0	2
特別損失合計	21	60
税金等調整前四半期純利益	1,323	1,049
法人税、住民税及び事業税	684	521
法人税等調整額	△90	△12
法人税等合計	594	509
少数株主損益調整前四半期純利益	728	539
四半期純利益	728	539

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	728	539
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	29	△43
退職給付に係る調整額	99	32
その他の包括利益合計	129	△10
四半期包括利益	858	529
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	858	529
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループの事業は、北海道を主な販売地域とする清涼飲料の製造・販売並びにこれらに付帯する事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。